

## 新発田市 平成 29 年度 第 9 回定例記者会見

1 日 時 平成 29 年 12 月 5 日（火）午前 11 時～

2 場 所 ヨリネスしばた 501 会議室

3 内 容

- 「イクネスしばた 大学受験生応援プロジェクト」
- 「あやめバス」乗車人数 まもなく 100 万人到達
- 新発田食品工業団地における企業主導型保育園の助成決定
- 札の辻広場を活用する団体の募集
- 札の辻広場の「インスタグラム」・「ツイッター」の運用開始
- 札の辻広場のイベント「クリスマス・イルミネーション」
- 「平成 29 年度市民表彰式」「平成 30 年新発田市新春を祝う会」
- 「第十四回城下町しばた全国雑煮合戦」
- 札の辻広場のイベント「しばた軽トラ市」
- 札の辻広場のイベント「ちょっと早めのクリスマスパーティーin 札の辻広場」
- 金賞米ふるまい
- 札の辻広場のイベント「SIVA<sup>シバ</sup>ダンスコンテスト」
- 潟コン×Komachi「恋人たちの聖地で出会う SWEET SWEETS PARTY<sup>スイート スイーツ パーティ</sup> in 泉慶」
- 「義士祭」
- 「飲酒運転根絶呼びかけ活動」
- 「新発田市消防団出初式」

### あいさつ

- 昨日、市内でたいへん痛ましい事件が発生しました。
- 台湾におりましたので、一報はメールで受け取りましたが、今朝、職員から「まちづくり善行賞」を受賞された方であるとの報告を受け、たいへんやるせない気持ちになりました。
- 亡くなられたお二人には、心よりご冥福をお祈りするとともに、一日も早く事件が解決することを願っています。
- さて、前回の会見でお知らせしたとおり、12 月 1 日新発田産コシヒカリ「殿様献上米」の PR のために、台湾に行ってきました。

- 今回は、高級スーパー「<sup>ジェイソンズ</sup>JASONSマーケット」での「殿様献上米」の販売開始に合わせて、PR イベントに参加しました。
- スーパーに訪れた方に試食してもらおうと同時に感想をお聴きしたところ、「冷めてもおいしいですね」という話があり、「我が意を得たり」と思ったところでした。
- PR イベントは、1月20日まで6店舗で展開され、その後は常設で販売されることとなっています。
- 間違いなく、「殿様献上米」は台湾でも需要が望めるのではないかと、手ごたえを感じました。
- 「<sup>ジェイソンズ</sup>JASONSマーケット」での販売もさることながら、外食産業、取り分け寿司屋を訪問させていただきました。
- 実際に取引のある10軒ほどの中から2軒の高級日本料理店・寿司屋に行ってきました。
- 1軒は、これまで富山県産のコシヒカリを使っていて、初めて新発田産のコシヒカリに触れて、「本物を知った」とういことで、新発田産に切り替えたとのことでした。
- もう1軒は、本当に高級な寿司屋でしたが、両店とも新発田産コシヒカリを絶賛していただき、たいへんうれしい言葉をいただきました。
- 前回、「ホテルオークラ台北」でも新発田産のコシヒカリを使ってほしいとお願いして、現在、ホテルの日本料理店で使っていていただき、お客さんにもたいへん好評だということです。
- 朝食バイキングでは、価格の面からコシヒカリは難しいが、できれば新発田産米を使いたいという総支配人からの要請があるので、値段を含めて、これからどのように詰めていくか、担当課と検討していきたいと思っています。
- 間違いなく、新発田産のコシヒカリは、海を渡る力があると改めて知ったところでした。
- 今回のメインは米の販売でしたが、台北市の観光局長とも面会し、新発田をPR させていただきました。

○その後、テレビショッピングで旅行商品を取り扱っている「金厦<sup>きんか</sup>旅行」を訪問し、前回話を詰めた通り、春から送客するとのことでした。

○また、1月に「金厦<sup>きんか</sup>旅行」の副社長が新発田を訪れ、コースや宿泊施設を見聞することとなっています。大いにインバウンドでの誘客も図っていきたいと思っています。

**それでは、会見項目の説明とします。**

### **初めに「イクネスしばた 大学受験生応援プロジェクト」について**

○イクネスしばたでは、来春大学を受験する高校生などをサポートするため、年末年始に臨時開館します。

○12月29日から1月3日までの6日間、カウンター席や多目的室など、約300席を学習スペースとして開放し、集中して受験勉強に取り組んでもらおうというものです。

○イクネスしばたを建設した背景の一つに、高校生の居場所を作りたいという思いがありました。開館以来、多くの高校生が勉強のために訪れており、大きな成果を上げています。

○加えて、市内高校校長会をはじめ、多くの方から年末年始の追い込みの時期に開館してほしいとの要望を受けたことから、さらに一步踏み込んで、今回のプロジェクト実施に至ったものです。

○なお、年末年始には、「札の辻ラウンジ」など、ヨリネスしばたのフリースペースも開放していますので、併せてご利用いただきたいと思います。

○この機会に、多くの受験生の皆さんにイクネスしばたを利用いただき、来春には笑顔で進学できるよう頑張ってくださいと思います。

## 次に、「あやめバス」の乗車人数 100 万人到達について

- 平成 18 年の運行開始以来、市民の足として定着している「あやめバス」の乗車人数が、12 月下旬で 100 万人に到達する見込みとなりました。
- これを記念して、12 月 25 日（月）から 1 月 12 日（金）まで、ヨリネスしばたを会場に、バス路線沿線の保育園児などによる塗り絵や「あやめバス」の 10 年のあゆみを紹介する企画展示を行います。
- また、100 万人到達日には、記念セレモニーを行うこととしています。
- ヨリネスしばたの開庁により、最寄りのバス停の乗降者数が増加するなど、まちなかへ向かって、バスによる新たな人の流れが生れています。
- 今後も、身近な「生活の足」として、より多くの方にご利用いただくとともに、拠点施設を結ぶ交通の要として、中心市街地活性化に寄与することを期待しています。

## 次に、食品工業団地の企業主導型保育園について

- 新発田食品工業団地では、団地内の共通課題の解決に向けて取り組んでいる「新発田企業コンシェルジュ事業」において、企業主導型保育園の設置について準備を進めてきました。
- この度、11 月 22 日付で内閣府の「企業主導型保育事業」の助成が決定しました。
- 今後は、12 月 5 日に建設工事に着手し、来年 3 月の竣工・開園を予定しています。
- この保育園では、一時預かりや病後児保育も行うこととしており、食品工業団地に勤務する子育て世代の従業員にとって、安心して働ける環境が整うこととなります。
- 工業団地の協同組合が保育園を設置することは、全国的にも珍しいと聞いていますが、これを一つのモデルケースとして同様の取組が広がっていくことを期待しています。

## 次に、札の辻広場に関する情報をまとめて紹介します。

- 1つ目は、札の辻広場を活用する団体の募集についてです。
- 来年の1月から3月の土曜日・日曜日・祝日に、「札の辻広場」を活用して、まちなかの賑わい創出につながるイベントなどを実施する団体を募集します。
- 市のホームページによる告知などのサポートや、会場設営、広告宣伝費などに活用できる助成制度もあります。
- この機会に多くの団体に応募いただき、まちなかを盛り上げていただきたいと思います。
- 2つ目は、札の辻広場でのイベント情報を発信する「インスタグラム」と「ツイッター」のアカウント開設についてです。
- アカウント名は、「インスタグラム」・「ツイッター」いずれも「札の辻に寄りねっす」で、来年3月末までの試行という形で、12月1日に運用を開始しました。
- 開催告知に加え、イベントの準備や当日の様子などの写真や情報を、よりタイムリーにきめ細かく発信します。
- これまで以上に広範囲に情報を拡散することで、より多くの方の来場につながるとともに、札の辻広場の様子をご覧いただくことで、先ほど紹介した活用団体の募集にも役立てたいと考えています。
- 3つ目は、12月24日（日）に開催する「クリスマス・イルミネーション」です。
- これは、札の辻広場の天井にクリスマスをモチーフとした映像を音楽とともに投影するものです。
- 来場者には、人工芝に寝そべって、夜空を眺めるように映像を楽しんでいただくこととしており、札の辻広場の新たな活用方法を提案するイベントです。
- 会場には、先月から巨大なクリスマスツリーのタペストリーを飾っています。ぜひ、多くの方にロマンチックなクリスマスの夜を楽しんでいただきたいと思います。

## 次に、「市民表彰式」と「新発田市新春を祝う会」について

- 1月5日（金）に、毎年恒例の「市民表彰式」と「新発田市新春を祝う会」を、初めてこのヨリネスしばたで開催します。
- 「市民表彰式」は、4階の議場を会場に、「市民表彰」、「賀状」、「まちづくり善行賞」を合わせて、44名、3団体を表彰します。
- 引き続き行われる「新春を祝う会」では、各界各層の皆様にお集まりいただき、新年のご挨拶と年賀の交換をさせていただきます。
- また、開会前には、アトラクションとして、東町獅子舞保存会による演舞と、昨年全国大会に出場した紫雲寺中学校音楽部によるリコーダー演奏を予定しています。
- 恒例の行事ではありますが、ヨリネスしばたの開庁から、ちょうど1年の節目ということもあり、特別な感慨があります。記者の皆さんにもご案内を差し上げております。ぜひご参加ください。

## 次に、「城下町しばた全国雑煮合戦」について

- 1月7日（日）に、恒例の「城下町しばた全国雑煮合戦」を開催します。
- 今回は、ヨリネスしばたの札の辻広場と合わせて、「メインストリート商店街」まで会場を拡大しました。
- これにより、商店街にも賑わいの輪が広がるほか、来場者には余裕をもって会場を回っていただくことができます。
- 前回は、札の辻広場のこけら落としのイベントとして、約25,000人もの来場者が詰めかけました。
- 今回もグランプリを目指して、全国各地から様々な雑煮が集結します。また、恒例の「看板娘コンテスト」や「餅まき」も行われると聞いています。
- 前回の来場者数を上回る、多くの方にイベントを楽しんでいただきたいと思います。

このほかの情報としては、札の辻広場のイベントとして、お馴染みの「しばた軽トラ市」があるほか、「しばた米コン！」の「金賞米」もふるまわれる「ちょっと早めのクリスマスパーティーin 札の辻広場」、初開催の本格的なダンスコンテスト「**SIVA**ダンスコンテスト」があります。

また、今年最大の婚活応援イベント「恋人たちの聖地で出会う **SWEET** スウィーツパーティー **SWEETS PARTY in 泉慶**」の参加者募集や、堀部安兵衛を偲んで毎年討ち入りの日に行われる「義士祭」があります。

さらに、市内飲食店約 300 店を訪問する「飲酒運転根絶呼びかけ活動」や、年頭の恒例行事「新発田市消防団出初式」があります。

ぜひ、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田を盛り上げていただきたいと思います。

## 定例記者会見質疑応答概要

### 台湾でのトップセールスについて

新潟日報 成果について話されたが、課題についてはどのようなことを感じたか。

市長 まず、海を渡る力を持っていることに驚いた。当初、価格の面がネックになるのではと思っていた。他の事例では、日本で精米して持っていき、どんなに良い米でも相当な日数をかけて運べば、劣化するのは当然である。当市では、本物を持っていき、現地で精米している。そのため、食べていただくとおいしいということになる。「<sup>ジェイソンズ</sup>JASONSマーケット」の支配人からも、価格は問題ではないとはっきり言っていただき、うれしく感じた。課題としては水の問題がある。硬水である台湾の水道では、せっかくの食味が相当阻害される。当市の「源泉滾々」は上水道である。水を作るのにはそれほどコストはかからないが、ロット数が少ないため詰めるのにコストがかかる。水をどうやって送るかが問題である。「<sup>ジェイソンズ</sup>JASONSマーケット」では、当市の米やお菓子のほかに、胎内市の「どっこん水」を送ってほしいとバイヤーから言われた。もちろん送るが、当市の「源泉滾々」、その水をどうするか。コシヒカリとセットで考えたほうが良いという課題が挙げられたところである。まだ始まったばかりで、大きな課題はないが、ロコミで広がっていくということ、本物は飽きないということは、実績として出てくるのではないか。もう少ししたら、課題・反省を含めて総括してみたいが、今のところは順調に海を越えてくれたと安堵している。

### 市内夫婦殺害事件について

産 経 以前に「まちづくり善行賞」を受賞し、地域に貢献された方が、こうした悲劇に見舞われたことについて、改めて伺いたい。



市長 全く痛ましい事件である。一報を聞いたときには、事件の内容だけで、帰ってきて初めて「まちづくり善行賞」を受賞された方だと聞いて、非常にやるせない気持ちでいっぱいである。一刻も早く事件が解決することを願うのみである。

### **食品工業団地の企業主導型保育園について**

朝日 人数として、どのくらいの需要があるのか。

市長 今のところ定員 19 人を目途にしている。

朝日 その近辺で、子どもを預けたいという声があるということか。

市長 まず、団地内で働いている方のために作るということである。余裕があるようであれば、近隣の皆さんにも声を掛けてもらえるとありがたい。

朝日 同じ保育園の中で、一時預かりや病後児保育もやるということか。

市長 そうである。現在の駐車場の一部を保育園の用地とする。食品工業団地としては、全国でもあまり例がないのではないか。地方創生の「総合戦略」の取組の一つとして、企業コンシェルジュを立ち上げてやってきた。そこで出たいくつかの課題の一つである「若い世代が子どもを預ける場所」に応えた形である。

### **「イクネスしばた 大学受験生応援プロジェクト」について**

産経 とても良い取組だと思うが、今シーズンあるいは来シーズンに向けて、プロジェクトとして温めているアイデアはあるか。

市長 担当課からは、需要を見てから解放してはどうかとの報告があったが、まずはやってみて、あまり需要がないようであれば縮小すればよいということになった。1 月早々にセンター試験があるので、300 席では足りないのではないかと考えており、ヨ

リネスしばたも開放し、連携することとした。その後に、学生あるいは校長会から要望があれば、精一杯応えていきたい。いあのところ、こちらからのアイデアはない。

## 「あやめバス」について

新潟日報 (上町バス停の乗降者数について) 平成 28 年と比べて、平成 29 年にこれだけ増えているが、平成 28 年以前もこのくらいで推移していたのか。

市長 少しずつ増えてきたということである。今年 100 万人に到達するということを想定して始めたものではない。車社会であるので、最初は慣れていないためか、あまり利用していただけなかった。今は、本当に市民の足になってきたと思っている。堅実に伸びてきて、今回 100 万人に到達するということである。

新潟日報 1.8 倍というのは、かなりの増え方だと思うが、どの層が増えたのか。

市長 分析はしていない。市民が、まだ自分たちのものにし切れていないということかもしれない。ある一定の方は活用していて、喜んでいただいているが、バスよりも自家用車や徒歩を選択しているところがあるのかもしれない。一度使うと利便性が分かるので、これからではないか。